

# 府民交流会 in中丹

日時:平成26年7月19日(土) 13:30~15:30  
場所:舞鶴市商工観光センター コンベンションホール(5階)

1. オープニング「中丹太鼓おもてなし隊“絆”」和太鼓演奏
2. 挨拶:山田啓二京都府知事
3. パネリストご紹介
4. 提案発表とパネルディスカッション

●『若者として地域振興について考えること』

☞提案者 藪下 圭亮 様 成美大学生

京丹後市在住。成美大学の経営情報学部ビジネスデザイン学科所属。福知山市の城下町エリアで中心市街地活性化協議会おもてなしプロジェクト「浴衣 WEEKDAY」の実行委員会の中心メンバーとして参画するなど「海の京都」の取組でも活躍中。第4回福知山市「未成年の主張」弁論大会に出場し、優秀賞を受賞する等、学業だけではなく、課外活動等にも積極的に活動中。

●『農山村地域への移住を推進してムラを活性化する京都』

☞提案者 霜尾 誠一 様 農業

舞鶴市在住。農業一筋に農村で生活する中、高齢化するであろう村の将来を心配し、昭和53年から1ターン青年を村に呼ぶための独自の運動を展開すると同時に、多くの農業研修生と生活を共にして農業者の育成に努力。その間、親子で参加する「西方寺平農業小学校」を開講し、農業・農村の持つ教育力を実感。地元の地域は若者が集う元気な村になっている。

●『地域文化を活用した京都舞鶴港等でのおもてなし』

☞提案者 福井 章子 様 中丹太鼓おもてなし隊“絆”

綾部市在住。9年前から和太鼓を習い始め、現在は綾部市太鼓連合会「チーム千手(せんじゅ)」に所属。自らの腕を磨くかたわら、地域の子ども達への太鼓指導も行っている。京都舞鶴港に寄港する国際クルーズ船の乗客等に対し、中丹ならではのおもてなしをするため結成された「中丹太鼓おもてなし隊“絆”」のメンバーとしても活動中。

□ ディスカッションいただくパネリストの方々(50音順・敬称略)

- 青山 公三 京都府立大学教授
  - 植和田 英子 舞鶴茶生産組合理事(京都府中丹地域戦略会議委員)
  - 内山 昭 成美大学学長(京都府中丹地域戦略会議副座長)
  - 竹市 直彦 綾部市観光協会事務局長
  - 山田 啓二 京都府知事
- 司会 竹内 弘一(KBS京都アナウンサー)

5. フロア(会場)との意見交換

6. まとめ:山田啓二京都府知事

## パネリストの方々のご紹介（50音順）

### ■青山 公三さん 京都府立大学教授

名古屋市出身。専門分野は、都市及び地域環境政策、危機管理政策、地域社会。平成4年から15年間ニューヨークに在住し、その間、アメリカの50以上の都市を調査で訪問。様々な公共政策に関わる調査・研究に取り組み、アメリカの先進的な経験を日本に伝える。帰国後、名古屋大学産学官連携推進本部特任講師を経て、平成20年10月から現職。平成23年4月から京都政策研究センター長。

### ■植和田 英子さん 舞鶴茶生産組合理事（京都府中丹地域戦略会議委員）

福知山市出身。平成5年度全国初の茶組合女性組合長に就任。平成9年度には舞鶴の5つの茶組合を統合し舞鶴茶生産組合を立ち上げ、生産体制の強化を図るとともに、茶摘み体験ツアーや茶工場見学の実施など、新たな取組を積極的に進め、地域の茶の生産振興に尽力。全国農山漁村女性チャレンジ活動表彰農林水産経営局長賞、京都府あけぼの賞など受賞。

### ■内山 昭さん 成美大学学長（京都府中丹地域戦略会議副座長）

福井県出身。九州国際大学、静岡県立大学、立命館大学教授を経て、平成26年1月から現職。専門分野は、財政学、自治体経営論。「京都府北部、北近畿の振興は国家的、国民的意義を有する」との信念のもと、地域産業の振興や雇用拡大への貢献、文化拠点としての大学の役割を強化するべく奔走。

### ■竹市 直彦さん 綾都市観光協会事務局長

愛知県一宮市出身。平成13年6月、京都市内で自然堂株式会社を設立。「地域づくりのコンサルタント業務」を手がけるなか、農山村の生活に強く惹かれるようになり、平成20年3月、綾都市口上林地区に1ターン。以後、地元の人材や資源を活用しながら、都市農村交流事業を行うなど、農山村の魅力発信に注力。海の京都実践会議メンバー。

## ◆ステージ配席図（敬称略）

